



--- ∞ (無限) プチプチとは？

梱包材でおなじみのプチプチ。これをおもちゃとして商品化し、その名の通り無限にプチプチが楽しめる。10万個売れば大ヒットというおもちゃ業界で、累計で250万個を売り上げた。プチプチを潰すのが好きな人にはたまらない商品で、姉妹品には「エダマメ」や「ペリペリ」が存在する。

今回はプチプチほかの開発チームのプロモーションご担当である亀田真司さんにお話を伺いました。

--- どんなきっかけで「∞プチプチ」は作られたのでしょうか？

一言でいって、思いつきなんです。おもちゃを梱包する本物のプチプチを扱っているときの、「ストレス解消に、これを永遠に潰せたら・・・」という本当に単純な発想なんです。面白さを追求したこういった商品は、調査・分析を行って事細かに詰めるほどつまらないものになってしまう傾向があるので、その時のアイデアを大事にしています。

--- 企画・アイデアを出す方々は文系、理系のどちらが多いのでしょうか。また、数的センスを持った人とか多いのでしょうか？

開発の担当者は理系の人間も多くいると思うんですけど、どちらかというと文系の方が多いように思います。企画担当者は、最近ではデザインというか美術系の方が多く、バリバリの理系の方は少ないですね。

そうした人は感性で仕事をする人が多いんですけど、数字自体がものすごく嫌いな傾向があります。でも、数字はめんどくさいものでもわからないものでもなく、感覚的な部分だけを覚えれば何か後についてくるかなと自分では思っていますので、自分の部下には常々そういった感覚を身につけるように言っています。

数的センスは経験を積まないとなかなか身につけませんが、実際の仕事の場合は価格設定や販売目標個数を思い浮かべたりするのも重要で、数的センスのある人は凄く仕事が速いと思います。

--- アイデアが出やすい人とそうでない人の違いって何でしょう？

なかなかアイデアが出ない人っていうのは、自分の中にハードルを設定し、アイデアを周りに話す前にあきらめちゃう人。本人が「これは面白くないな」というアイデアでも、みんなで話し合うとそこから更にアイデアが広がることもありますから、どんどん提案していく姿勢が必要です。あと、いい意味での不真面目さ。

--- 数学のイメージや生徒さんへのメッセージをお願いします。

高校時代、数学の先生はいつも白衣を着て、大きな三角定規を持っているイメージがありました。また、神経質な感じの人が多かったように思います。

私は国語が好きでしたが、国語や小論文とかは何が正しくてどれが間違えたのかわからないこともあり、答えが明瞭でないところもあると思います。

反対に数学には明確な答えがあり、答えまでたどり着くことで、「どんどん自分が出来ている」、「頭が良くなっている」という感覚が出てきて、より一層数学や算数が好きになるのではないかと。

学生時代にあまり数学をやってこなかった自分が言うのもなんですが、分からないまま放置してしまうからなかなか答えまでたどり着かず、だんだんと嫌いになっていくのではないかと思います。

明確な答えがあるから、わかった時の喜びはものすごく大きいので、数学を通じてその喜びを体験してもらえればと思います。